

生徒の取り組みをリアルタイムで添削しよう

何を使う

ソフトウェア（アプリ）：なし



それをどう使う（それで何ができる）

- 机間巡視をしながら生徒が取り組む課題を iPad で撮影し、その場で撮影した画像に文字を書き込むことで、リアルタイムに添削ができる。
- その際、iPad をケーブルでプロジェクターや TV につなぐこと（AppleTV の場合、wi-fi 環境下で無線接続する必要がある）で、教室の生徒全員に添削の様子を提示、共有することができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

○高校（全教科等）

【 Before 】

- 個別支援の同じ内容を、別の生徒にもすることが多い。

- 個別支援の同じ内容を、別の生徒にもすることが多い。



【 After 】 メリット

- 支援の内容が全体に共有されることで、同じ困り感を抱えた生徒への支援が可能になり、指導効率が高まる。
- 黒板まで戻らなくても説明（板書や解説）ができるため、能率がよく、より多くの生徒に個別支援ができるようになる。

- 支援の内容が全体に共有されることで、同じ困り感を抱えた生徒への支援が可能になり、指導効率が高まる。
- 黒板まで戻らなくても説明（板書や解説）ができるため、能率がよく、より多くの生徒に個別支援ができるようになる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
		○		プロジェクター／TV					
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	全教科・科目			
	○	○	○	○	活用が想定される場面	演習			